

2026 年度 (公社)日本地すべり学会新潟支部  
学生・院生対象研究助成 募集要項

地すべりを対象とした調査・研究を支援することにより、斜面災害の調査・研究、防減災対策に従事する若手人材(研究者、技術者)の育成を図るため、日本地すべり学会新潟支部では学生・院生を対象として、下記のとおり調査・研究に必要な経費の一部を助成します。

#### 1 助成対象研究

地すべりを対象とする調査・研究で、(公社)日本地すべり学会の理念に反しないものとします。

※ 室内実験、数値解析、リモートセンシング等を中心課題とする研究でも構いませんが、研究の一環として 必ず野外調査を実施する研究テーマを対象とします。

#### 2 助成対象者

(1) 新潟県および隣県の隣接地域(山形県南西部、福島県会津地方、群馬県北部、長野県北信地方および中信地方北部、富山県東部)の地すべりを調査対象とし、研究に従事している全国の大学生、大学院生。

(2) 新潟県内の大学に在籍し、地すべりの調査・研究に従事している大学生、大学院生。

(3) (1)あるいは(2)の大学生、大学院生で、2027年3月26日(金)までに助成対象となった調査・研究について研究成果報告書の提出が可能な方で、2027年度の「日本地すべり学会研究発表会および現地見学会」(いわゆる全国大会)においても確実に口頭あるいはポスターで発表できる方。

#### 3 助成内容

(1) 助成金申請額は、予算の範囲内で、1件あたり上限10万円とします(5件程度採択予定)。

※ ただし、助成対象者1人あたり1件とします。

※ 同じ指導教員の研究室から複数の応募があった場合は、指導教員に所見を伺うことがあります。

(2) 対象経費 ※詳細は、様式2の別表を参照してください。

① 調査対象地までの交通費(車の場合は燃油代、高速代、レンタカー代など)・宿泊費(一泊あたりの上限は10,000円)

② 調査・研究に係る経費(調査に使う消耗品類の購入、調査道具や採取した試料の送料など)

③ その他、新潟支部長が必要と認めた経費

※ 2026年4月1日から交付決定までの間に支出される経費も計上できます(ただし、領収書あるいはレシートが必要)。審査委員会で経費の内容を審査し、不適当な経費があれば指摘します。不適当な経費は決算の際に決算書から除外してください。

#### 4 応募方法

次の書類を電子メールに添付して、提出してください。メールの件名は「助成金応募」としてください。

1) 助成金交付申請書兼研究計画書 2) 収支予算書

提出先メールアドレス: jimukyoku@landslide-niigata.org

## 5 応募期間

2026年6月2日(火)から2026年7月3日(金)17:00まで ※期間内必着

## 6 審査等

新潟支部が組織する審査委員会で申請内容を審査し、助成金の交付を決定します。採否の結果については、7月上～中旬に申請者に通知します。

## 7 成果報告等

助成対象となる調査・研究が完了した後、次の書類を電子メールに添付して提出してください。

提出先メールアドレス : jimukyoku@landslide-niigata.org

- (1) 研究成果報告書 2027年3月26日(金)17:00(必着)
- (2) 収支決算書 2027年3月3日(水)17:00(必着)

※ 予算は2027年2月末までに執行してください。

※ 領収書等の証拠書類は科目別に分類し、時系列順にA4やA3用紙に貼付して、郵送にてご提出ください。郵送先は、下記の「10 申込・問合せ先」です。

## 8 助成金の支払

指定された口座に支払います。助成金の交付決定後、採択者に振込先の口座を確認いたします。

## 9 その他

- (1) 交付決定後、交付決定者の氏名、所属、テーマを新潟支部のホームページで公開します。
- (2) 研究成果報告書を提出後、交付決定者には2027年9月に開催される「日本地すべり学会研究発表会および現地見学会」(いわゆる全国大会)でも発表していただけます。
- (3) 本助成金を使って行われた研究の成果を学会等で発表するときや学術誌等に投稿する際は、研究の一部に本助成金を使用した旨を明記してください。
- (4) 研究成果報告書の提出時に、次年度の所属先と連絡可能な連絡先を必ずご連絡ください。

## 10 申込・問合せ先

(公社)日本地すべり学会新潟支部 事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地 新潟大学災害・復興科学研究所内

TEL:025-262-7058 email: jimukyoku@landslide-niigata.org